



Vol.20 No.3

May 2010

Council 8 Japan Region

Newsletter

前向きに考え 行動しよう

Positive Thinking and Action

新たな出発への序奏

カウンスル 8 第20期会長 岩佐 圭子

カウンスル No.8 第20期 第2回会合は、22年4月4日(日)、ホテルフロラシオン青山で開催致しました。午前の事務会議にはカウンスル会則修正案が5件提出され、すべて可決されました。今回の会則修正により、カウンスル No.8 に第二副会長が復活し、PREM 委員会が常任委員会に加わりました。来期からは活発な PREM 活動が期待できそうです。



不況下で新卒者の就職活動はなかなか厳しいようですが、その成功の秘訣は「コミュニケーション技術の習得」にあると、先日テレビで報道していました。第2回会合の午後のプログラム、スピーチコンテストには各クラブから粒揃いのコンテスト出場し、図らずも No.8 のスピーチ水準の高さを証明しました。どのコンテストも賞から漏れるのが惜しいと思える程で、我がカウンスルのコミュニケーション力を誇りに思いました。

4月21日の彩玉クラブ訪問を最後に、No.8 会長及び役員・PREM 委員による全クラブ訪問は、4ヶ月かかりましたが、無事に終わりました。クラブ訪問により、各クラブの実態、性格、問題点がより明確になり、各クラブ会員と親しくなれたことによって、さらなる連帯感を共有できたことが一番のメリットだと思いました。どのクラブも温かく迎えて、プログラムの仲間入りをさせて下さり、お蔭さまで、クラブ訪問は勉強になるだけでなく、とても楽しいものでした。

今期の嬉しいニュースは、重複会員数名を含めてですが、新入会員が12名もあり、カウンスル No.8 の会員数が、第2回会合開催の4月4日時点で、157名に増えたことです。この数字を前向きに考えて、今後の発展に繋げていきたいと思えます。役員会と委員会の体制を整えても、実際の活動は各クラブ会員にあります。どうぞ、クラブとカウンスルのために、これからも引き続いて、前向きに考え、行動して下さいようお願い致します。

年間
テーマ

国際 : **Coach for Success** 成功へのコーチ

リージョン : **実践 知識を叡智に**

Practice-Knowledge into Wisdom

第20期 第2回会合

日 時 : 2010年4月4日(日)

場 所 : ホテルフロラシオン青山

カウンスル 8 第2回会合は、満開の桜の中、4月4日10時30分より会場を従来のシーサイドホテル芝弥生会館からホテルフロラシオン青山に移し、岩佐圭子会長を議長として、会員92名、ゲスト8名出席のもと開催されました。冒頭会長から、今期は重複会員2名を含め12名の入会があり、会員は総勢157名となりましたと嬉しい報告がありました。



引き続きビジネスでは、特別予定議事が2題。1題目は会則修正案5件の審議が行われ、全件とも採択され、来期は、5年前の簡素化で廃止された第二副会長職が復活し、特別委員会のPREM委員会が常任委員会入りすることが決定しました。続く2題目は次期役員選挙で、

増井美恵子指名委員長が提出した次期役員候補者名簿に追加指名は無く、口頭採決が行われ、次期役員4名が選出されました。小菅次期会長からは来期に向けて、地域との連携が熱く語られ、各々の役員からも挨拶がありました。

次期役員 <写真左から>

会 長	小菅 あけみさん(サンデー)
副会長	中野 洋子さん(柏)
書 記	松岡 美保さん(筑波)
会 計	山内 昌子さん(東京)



午後は恒例のスピーチコンテスト。英語4名、日本語7名の出場者はいずれもクラブの優勝者で、聴き応えのあるスピーチを披露してくれました。英語の部 優勝 小寺恵子さん(柏) 2位 和田千草さん(筑波)、日本語の部 優勝 池田美智恵さん(彩玉) 2位 斉木ゆかりさん(横浜) 3位 坂本幸子さん(アクア千葉)。

(文責 編集)

PREM 委員会からの提言

PREM 委員長 関 稔子

ITCの財産は何? それは「会員」、皆様一人ひとりなのです。

クラブ平均会員数の推移を見ますと、10年前は20名、5年前は16名、今期は13名、財産は減る一方です。大切な財産を管理する第二副会長を削減するという簡素化は、活性化に繋がらなかったようですね。

第二副会長が復活してもすぐ成果は上がらないでしょう。でも、第二副会長がPREM委員長を兼任し、P・R・E・M4部門が、夫々若く元気な会員で強力なプロジェクトチームを組み互いに連携して活動を続ければ、きっと成果は上がると思います。クラブ例会でも会員減少の傾向と対策を講じて下さい。ニュースレターに新入会員の紹介や会員状況を掲載して下さい。PREM活動にはパワーが要ります。今迄ITCから多くを学び恩恵を受けたのですから、今度は「ITCに何が出来るか」を考え勇気を持って実行して下さい。

能ある鷹は爪を隠さず、先頭に立ってお働き下さい。大切な財産を守り育てるために・・・。

スピーチコンテスト

スピーチコンテストは、第2回会合恒例のプログラムです。スピーカーはもとより、スピーチコンテスト委員も又、準備万端整え、緊張のうちにこの日を迎えたことと思われます。そこで、スピーチコンテスト委員長、英語、日本語の優勝者に、スピーチ上の苦労話や当日の心模様を語っていただきました。

スピーチコンテスト委員長 根岸 千代

「出場者の皆様が気持ちよくスピーチが出来るように」ということを目指して準備を進めてきました。私は今までこんなに「どうぞ、よろしくお願ひいたします！」と念じたことは無く、お役を引き受けて下さった方々に感謝あるのみです。出場者の皆様は度胸と余裕があたりでした。以下 SC 委員の感想です。「二人の PL がご自分の経験を活かした確かな指示と、出場者が実力を発揮できるように色々アドバイスをしてくださいました。」「日本語の部はいずれ劣らぬ好スピーチ揃いでした。」「次々と異なった味わいのスピーチが飛び出してきて、バイキングのようでした。」「皆で適材適所の仕事が出来て良かったと思います。」

英語の部

学べば学ぶほど・・・

小寺 恵子(柏)

スピーチコンテストには久しぶりに参加しましたが、時間的には以前より余裕があったものの、生みの苦しみは大きかったような気がします。論題の Picture と将来像というキーワードを結びつけて、子供の学力低下をテーマに選びました。

しかし、このテーマは現在の私自身の生活とはあまり関わりがないので、どのように自分自身の体験と結びつけるかが難しいところでした。また、どんなに重いテーマでも、スピーチにはユーモアが不可欠と聞き、少し堅苦しいテーマだけに、いかに笑いを取る？かには頭を悩ませました。

意図した通りに皆様の笑いを誘えたかどうか分かりませんが、何事も知れば知るほど難しくなると、改めて実感しました。



英語の部 出場者 右から2番目が筆者

左端はプログラムリーダー

日本語の部

スピーチのおもしろさ 池田 美智恵(彩玉)

スピーチは聞くに限る！ 聞くだけで自分では知り得ない情報や知識が一瞬にして分かるからである。そのうえ、スピーカーの人生観まで知り得るのだからよけいにおもしろい。

今回のカウンスルのスピーチコンテスト大会では、内容も豊富でジャンルもバライティーに富んでいて聞いていて楽しかった。私は小さい頃からお話や物語を聞くのが好きだったが、話す方は苦手だった。スピーチはいまだに逃げたい方だが、皆に評価を頂きながら、内容を推敲していく作業が少し面白いと思うようになってきた。

そして今回気がついたことは、私の好きな昔話や民話の手法がスピーチに生かされていることだった。

でもやはりスピーチは聞くのがおもしろい。



日本語の部 出場者

右から4番目が筆者

左端はプログラムリーダー

日本リージョンは、第28回年次大会のテーマ『叡智をもとめて』の名の下、表に3つ裏に10コの升目のある到着地はYo・na・goと記した名刺大のカードを全会員に配布し、「ここにサインをもらいましょう」と他クラブ訪問を呼びかけてきました。この呼びかけに応え、2009/9/1～2010/4/30の期間に3クラブ(or カウンシル)を訪問した人を、来る年次大会で表彰、さらに10クラブ多い13クラブ訪問に対しては特別表彰をするとの通知がありました。カウンシル8では、何人がこの榮譽に与ることでしょう。

これを機に、他クラブを訪問された方に、その感想をお聞きしました。

『ひとり芝居』に魅せられて 2009.12.8 青山クラブ

青山通りを挟んで、東宮御所の筋向いにあるカナダ大使館。

青山クラブのクリスマス例会は、重厚ながらモダンな雰囲気のある会場で行われました。

プログラムは舞台俳優 後藤加代様をお迎えしての『語り』で、この日の演目は、樋口一葉の「たけくらべ」でした。後藤様は、初対面の私たちにもまるで旧知の間柄のように、気さくで朗らかに接して下さっていましたが、ひとたび演目に入るやその熱演ぶりは圧巻でした。私たちは唯々息を吞んで、「たけくらべ」に吸い込まれたのでした。

また、この会には、元青山クラブ会員も何名かご出席で、旧交を温めることができました。とても少人数クラブとは思えない、心のこもったおもてなしを受け、幸せなひと時を過ごしました。

嶋田 凱子(東京、東京セントラル)記



後藤加代さん

クリスマス例会は大盛会 2009.12.18 アクア千葉クラブ

着信メールを開くと素敵なチラシ！ その瞬間から“ワクワクドキドキ”の始まりです。当日、笑顔で迎えられた会場は超満員。心のこもった歓迎カードに感激ひとしお。

プログラムはLet's make a storyで始まりましたが、乾杯のワインで思考力停止状態の私はさておき、全員が面白おかしく話を紡ぎ、会場は笑いの渦に包まれ楽しいひと時となりました。インタビューの後は期待のオークション！ リーダーを務めるお二人の身振り手振りを交えた見事な口上によって、手作りのケーキや手芸品等沢山の出品物が次々にゲットされ、オークションは拍手喝采のうちにお見事！完売です。“ワクワクドキドキ”の充実した例会に心を満たされて帰路につきました。

林 栄子(彩玉)記

真冬のみちのくを訪ねて 2010.1.17 盛岡クラブ

久しぶりに盛岡クラブを訪問しました。会員のお顔ぶれはだいぶ変わったようにみえましたが、それだけ新しい会員が入られたということでしょう。スピーチコンテストは2年ぶりとのこと。そのせいか、ぎこちないところも見られましたが、会長を先頭に会員全体が一生懸命にコンテストに取り組む姿に好感がもてました。それからいつも感じるのは盛岡クラブの皆さまの「わが郷土」に対する誇りと愛情です。それが私にとってはとてもうらやましいところです。No.8の中でも個性的なクラブに育ってほしいと思います。

最後に木立の間から雪の岩手山を眺めたり、凍った池で白鳥たちに餌をやったりと楽しい体験をさせていただき厚く御礼申し上げます。

櫻井 慶子(東京)記

他クラブ訪問記



日英3クラブを訪問して今思うこと 柏、東葛、東京セントラル

2月に柏の「スピーチコンテスト」、3月には東葛の「憲法」と東京セントラルの「ワイン」。
2ヶ月間に3つのクラブに足を運び、ゆったりと普段の我クラブを振り返る気持ちの余裕は贅沢でした。英語クラブでは、自分のクラブとのちょっとした違いが言葉の表現の中にも次々と見つかる面白さがありました。日本語はカウンスルでは聴いているのですが、クラブ場面では別の新鮮さを見出しました。母国語での雰囲気は第二言語での運営とこんなにも異なるのかというのが正直な印象です。カウンスル内の全クラブに少なくとも一度は行ってみたい心境です。発見の喜びは実にわくわくする驚きでしたから。

柴田 ひさ(サンデー)記

外国人と楽しんだ日本の“遊び” 2010.3.9 筑波クラブ

1月例会のプログラムは、“Follow Instructions”。指示に従って“ジャンケン”、“おちゃらかほい”、“福笑い”を楽しみました。同じ英語クラブとして羨ましかったことは、毎回外国人ゲストがいることですが、世界共通だと思っていたジャンケンを知らない方がいらしたことは思いがけない発見でした。私がかわいい(?)小学生だったころ盛んに遊んだ“おちゃらかほい”は私の世代には全国的な遊びだと思っておりましたが、地域によってはご存じない方もあって、日本ってかなり広いということを実感しました。準会員並みの外国人も何人がいらして、コメントを述べてくれましたが、プログラムの内容を分析して、改善点など指摘して下さい、素晴らしい総評でした。

藤原 雅子(東葛、柏)記

『なるほど憲法講座』を受講して 2010.3.10 東葛クラブ

石川恵悟さんの講座に参加していつも感心することは、非常に綿密に準備され、また受講者が理解できるように工夫されていることです。今回も次の3点に絞られています。

- 1) 日本国憲法の中に埋もれている面白～いネタを、皆でワイワイ楽しみながら発掘する。
- 2) 客観性の高い勉強会にするため、天皇制、第九条の解釈等は扱わない。
- 3) グループワーク：提示された手がかりで面白いポイントを探す。

私たちは「日本国憲法をめぐる年表」で1946年11月日本国憲法が公布された経緯を、また「マッカーサーノート」で新憲法の主旨を再確認し、「日本国憲法全文」から問題点を探すうちに憲法がとても身近に感じられるようになりました。

阿部 玲子(柏)記

『フィンランド式思考法トレーニング』のストーリーメイキングを体験して 2010.3.16 東京クラブ

東京クラブの「フィンランドカルタ」は、グループで行うことで、他者との意見交換が盛んになされ、グループの連帯感作りに役立つと感じました。また絵をヒントに皆で考えた物語の発表もしました。これらは発想を豊かにするツールとして優れていると感じました。

ところで、他クラブ訪問初体験の対象に東京クラブを選んだ私は少々戸惑いました。横浜クラブという「温室」育ちの私は東京クラブの刺激の強さに圧倒されたのです。その刺激とは、1)人数の多さ、2)個性の濃さ、3)評価の手厳しさです。

しかし、例会が終わった時は、1000メートルを泳いだ後の様な、爽やかな疲労感に包まれました。噂には聞いていましたが、「やっぱり東京クラブ」でした！

斉木 ゆかり(横浜)記



POWERtalk

ってなあに？

多くの人が漠然とパワートークと言っているものは、正式には、パワートーク ITC、パワートークインターナショナル、パワートーク ショートコースのことなのです。

パワートーク ITC というのは、英国人会員のローナ・シェルダンを考案した上手なプレゼンテーション(発表)の基本方法です。マスターマニュアル第5章にあります。

パワートークインターナショナルとは、2007年世界大会で認められた ITC のブランド名です。

ITC ではコミュニケーション技術全般を学ぶことを目的にしているのですが、外部の人たちには「ITC」といってもアピールする力が弱いので、わかりやすいブランド名を使うことになりました。ITC とパワートークインターナショナルの関係は、以前松下電器のブランド名がパナソニックであったのと同じです。

パワートーク ショートコースは、パワートーク ITC を6つの課題に分けて学ぶコースで、内部だけでなく外部に向けて行うことによって ITC を PR し、ひいては会員増強につなげることを目指しています。

このコースを行うことができるのはフェローオブ ITC、あるいはトレインザトレイナー(TtT)のテストに合格したトレーナーです。現在、カウンスル No.8 には小菅あけみフェローオブ ITC (サンデー)、城戸幸子トレーナー (東葛)、山口久美子トレーナー (葦崎) の3人がいます。 (城戸記)



パワートーク ショートコース 講習会



去る5月5日、東京ウイメンズプラザでそのパワートークショートコースのワークショップが開催され、7クラブから12名が参加しました。

参加者の声を拾ってみると：

- ・知っていることはできることとは違うことが良く分かった。
- ・スピーチの様子を画像診断、思いがけない癖を発見し有意義だった。
- ・各人に対するトレーナー及び参加者の評価が実に綿密、適切で、目から鱗だった。
- ・トレーナーの準備が万全だったので、10時～16時の長丁場も短く感じるほど活気があり充実していた。

トレーナーになるには、このようなワークショップを2回受け、トレーナーのテスト(TtT)に合格することです。7月8日には泉和子、小菅あけみ両フェローオブ ITC により TtT が実施されます。新しくトレーナーが誕生すると、外部に向けてたくさん発信することができ、ITC の活性化につながると思われます。 (文責 編集)

トレーナーになって

山口 久美子 (葦崎)



私は、トレーナーになってから、一般の方々や小中学校の先生方に研修をする機会を得ました。教えることが専門である先生方からも、「話をする時に意識して声を出したことはなかった。」「服装一つで話の内容が伝わりやすいとは知らなかった。」等々反応はとても好評でした。「話をする」ということは、「自分の想いを伝える」ということです。そのためには、話を聞いてもらえる雰囲気をつくり、相手の心に届く声を出し、決して独りよがりな話をせずに、相手の反応を見ながら話をする。その一つひとつがごく基本的なこと。この基本すべてが合わさったときに、生き生きとした語り手となります。私は、これからも学び覚えたことを「心に届く声」にして一人でも多くの方々に伝えていきたいと思えます。

1年を振り返って

私のクラブを採点すると

東京

- 1) 会長テーマ「経験の恵み」
失敗を恐れず経験をという目標：
活発な活動が展開した。
- 2) 4月のワールドネットワークと
フォト575：新鮮な企画で、
全員が活発な参加をして楽しめた。
- 3) 会員を増やす努力がやや不足して
いたのでこれが来期への課題。

クラブ会長にお聞きしました。

- 1) 今期目標と到達度
- 2) 一押しプログラムとその理由
- 3) 反省点と来期への課題

筑波

- 1) “Brush Up” Power talk skill
各自のモチベーションが高く、クオリティーの
高い例会になっている。
- 2) “Follow instructions” -Games and Exercise-
外国のゲストが日本の「福笑い」などを英語の説明
だけで出来るか？ 結果は・・・超盛り上がり。
- 3) 少人数なので、各例会の役割が事前に決定できない
が、なんとか継続しがんばる。

青山

- 1) 今期目標と到達度
当クラブでは50パーセント
- 2) 後藤加代様 語り“たけくらべ”
クリスマス例会で舞台女優を招き、
ゲストも参加。プロの表現力に学ぶ
ところが多く有意義だった。
- 3) プログラム委員会を定期的に関き会員
の意見反映をもっとするべきだった。

柏

- 1) 目標の相互援助はカウンスル記念会合出し物・
会合担当を通して100%達成。
- 2) ITC's Got Talent 2009
4グループで異なった出し物を演じ楽しんだ。
- 3) 数人の見学者を迎えながら入会に至らなかった。
新入会員の確保が課題。

サンデー

- 1) 「パワートークを地域に」英日ショート
コースを二つ終わり、入会者獲得。
- 2) 毎月の例会をビデオで撮り、YOUTUBEに
のせて、自分を客観的に観察できた。
- 3) ITCのホームページからの教材の活用を
全メンバーができるようになること。

東葛

- 1) 楽しさでは70点かな？
充実度では100点に近い。
- 2) ワークショップ「日本の借金、本当はこうなっ
てます」：日本の借金、国民一人当たり700万円。
日本は破綻するのでしょうか。
- 3) 例会以外に顔を突き合わせてじっくり話し合う
機会がないこと。

1年を振り返って 私のクラブを採点すると

萑崎

- 1) 今期は「パワートーク」を前面に出した結果初心に返り様々なスピーチの方法を学習できた。
- 2) 11月の「私をプレゼン」：菓子店のオーナーと幼稚園の園長に採用されるためのプレゼンを視覚教材を使って実施、試みが新鮮だった。
- 3) 会員を増やせなかったのが、来年こそは！インターネット環境の不備が原因と考える。

彩玉

- 1) 目標：「変化を楽しむ！」 4割達成。
- 2) 12月のクリスマス例会で、**鼻笛コンサート**を開き楽しんだ。多数のゲストをお招きし、バザーの売上増と会員獲得を目指した点が理由。
- 3) 興味を持ってくれるが、ITCの入会に至らない。会員増を目指す。

横浜

- 1) 新入会員を3名と期待しましたが0でした。
- 2) 『留学生(ドイツ、ポーランド)のスピーチ』：交流の楽しさを知り、僅かの期間で話せるようになった彼らの努力に感動を受けました。
- 3) ゲストを招き、楽しいクラブである事を体験してもらおう。

盛岡

- 1) 会員数は前年と同じ20%増加で目標達成
*Target 20/20 を2年連続受賞
- 2) 記念会合で発表の「注文の多い料理店」
12月例会でクラブでも上演。盛岡弁の翻訳に四苦八苦。
- 3) プログラムがマンネリ化。
新会員の増加もあり、基本に返り、心機一転フレッシュに取り組みたい。

アクア千葉

- 1) 目標は会員の増強で、新入会員1名達成。
- 2) 「アクア流新春句会」 フォト575
写真に自作の川柳や俳句を添える。相乗作用で両者が鮮明に生きてくる斬新な試み。
- 3) 報告事項を正しく伝え、理解してもらえたか。
きめ細かなビジネスの為の策を考えるのが課題。

東京セントラル

- 1) “One More Step Up Together” で、
充実したプログラムだった。
- 2) Workshop: Parliamentary Debate は
資料による学習、練習、本番と段階を踏み、
新しい分野に踏み出せた。
- 3) 新会員獲得！全員参加型のプログラムを
もっと多彩にする。

編集後記

お忙しい中、第3号に執筆の皆様、ご協力ありがとうございました。

ネット上の発行は8年目となりますが、経費がかからない上、何色も自由に使えて羨ましいという同業者の声を耳にしました。メールで送信された原稿はフォントを揃え、コピーして貼り付けるのでタイプミスの心配もなく、万一何かあっても、原稿が手許にある為、いつでも修正可能。加えて、賢いソフトのお陰で、オシャレを楽しむ気分デザインを考えることもできました。こんな一石五鳥のお役、皆様にも是非お薦めしたい！

一年間のご愛読に感謝します。(R.M)